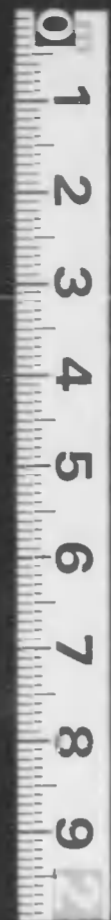


真寔週報

情報局編輯
二十日六月一日第二十五號

昭和十七年六月二十日 星期一 第百五十五號





天覽 皇后陛下下には
十二月二十九日宮中
において、陸に、海に、
空に、軍不滅の武勳を
輝へる大東亞戰爭陸海
軍作戦記録第三十九巻
を著しく天覽ならびに
合覧せられ、敬慕
ひしほ深き御機嫌に
昇されたと承はる。
なほ日本軍艦の精銳
が南洋羣島の赤城とめ
たこれらに記録は十二
月三日から東京上野の
府美術館に閉架中の
『大東亞戰爭美術展』
に特別出陳されてゐる

十一月八日の真珠灣
中村研一作



武器彈藥を着物にまどひ
酒食に流すは誰ぞ
戦費は諸君の懐の中にある
この年末に五十億を積んで
没した武勳の代艦を造らう

「時の札」は他へ転載その他に御利用する

天覽の榮に輝く

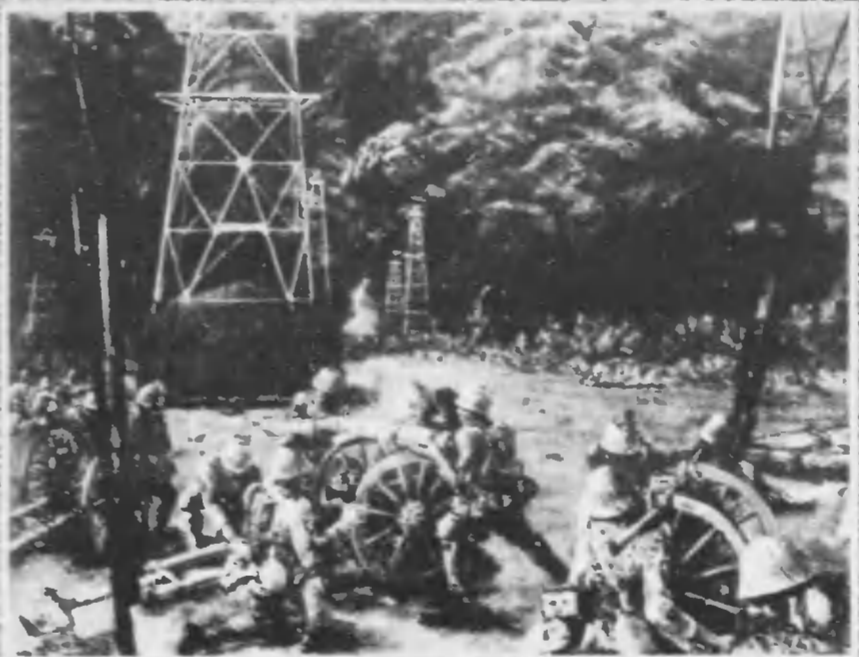
○ 長官レンバースに降下す
 前田香 製作



○ 川 製作



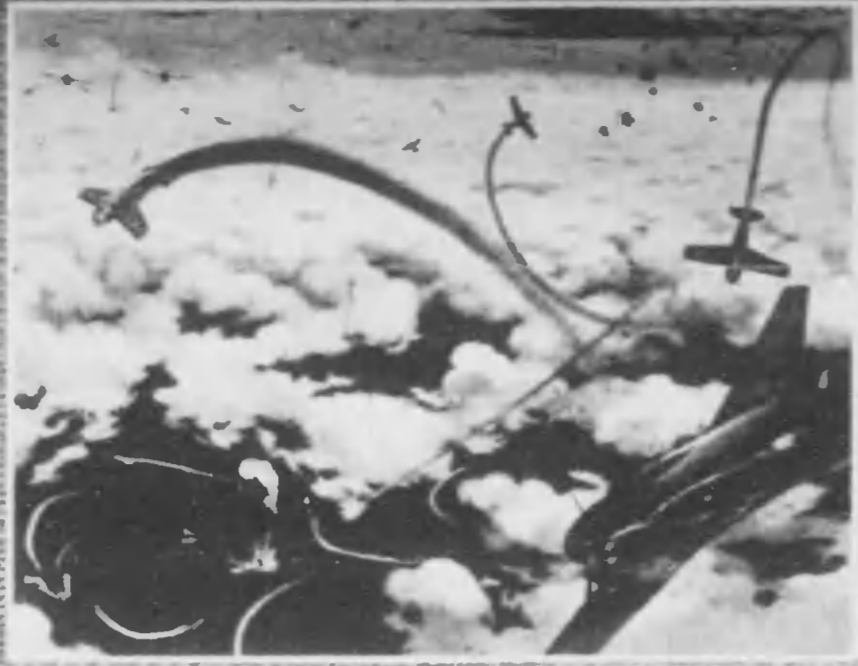
○ 丹波島最後の総攻撃
 山口 製作



○ 山下ハトシと司令官見舞
 富本三郎 製作



○ ハートマンが沖方艦隊に砲撃
 前田香 製作



○ 島探の道(ユレビヤ)
 前田香 製作

○ 四月九日の記録(ベトナム)
 向井 製作
 マンダレー人城とビルマ人の協力
 伊藤三郎 製作



貯蓄の余剰

十二月の目標十五億圓

国内も戦場だ。大東亞戦争に對する一億國民の心構へは、はつきりできてゐる筈です。では、銃後のあげる戦果は？ まづ貯蓄です。初めてのわが戦艦喪失が發表された時、「こりや、もつと、彈丸切手を買はな、あかんわい」言葉は軽いが、決意はきつぱりと、本年度の下半期百二十一億完遂へ、こぞつて氣構へのほどを見せた筈です。フランスでは、鴉や鼠の公定價さへあるとさへいはれてゐます。それに較べると、大東亞戦争始つて以來、われ々の國民生活は、「本當に有難いことだ」といふ言葉だけでは言ひ盡せないほど、ゆとりのあるものではなかつたでせうか。貯蓄の餘裕は、此處にも、其處にもあります。こゝに指摘する寫眞などはごく一部分に過ぎません。さあ、下半期百二十一億の貯蓄戦は、何が何んでも勝ち抜きませう



最近、ボートや、洋服、靴、帽子、シャツ、等は、かなりの余裕を、意氣揚々と穿したが



勿論湯河原、熱海、伊東は伊豆の温泉地です。病人には保養も必要でせう。だが「たつた今、笑つて散つた友もある」



今時、随分珍しい、だがカメラが實に捉へた街頭風景です。こんな人アメリカに行つても珍らしい

この貯蓄の餘裕



パーマネットの是非は論じません。だが、形より心が大事。時と金を國家に捧げてこそ、後のはなを誇れます。



デパートが店を開くのが、午前九時です。開店と同時にこの人の群。九時からデパート出動とは、なんと、まあ。



寒いのにビヤホールをとりまく行列です。かうまでして飲まなくとも、さうだ、道は弾丸切手にも通じてみませう。

貯蓄組の陣取

こゝに戦った陣組貯蓄の買例は、情報局が日本放送協會と協力して、あなたの陣組では、どうやって貯蓄や國債消化の實踐をあげてみますか。國債の買入、一般から募集し、集約三三〇〇から集約三三〇〇まで、一部です。集約三三〇〇の中からは、あくまで貯蓄額を勝ち抜かうとする。私たちがどうしても買けられぬ競争を控へてみます。もつと、創意を凝らし工夫を加へて、先づ十二月の貯蓄目標五十個をやりとげませう。

臺所の無駄を省いて

石川縣金沢市五軒町五丁目 安田外枝

私達の隣組は二世帯を一つの班としてをります。二月に一度の國債の割當は、約二百五十個程度ですが、その日暮しの小賣店が多いので、國債の割當を一時に購入することは、定めた収入のある生活ではないので、かなりの重荷でした。そこで組長さんの發案で、毎日の副食費の節約により、國債の購入金の一部にあてることを達成、早速節約貯蓄の貯蓄を買行にうつすことになりました。従來の私達の生活では、一人平均

均三十銭見當でした。それは無駄な買物が多く、魚や野菜を半分は買ひ、餘りは味が悪くなるというては無理をして食べたり、捨てたりしてをりました。この時局に、無駄を省き今まで捨ててかへりみ

なかつた臺所の貯蓄を生かして使ひ、野菜の切端の中にも受取價滿額の物が多く、生かせば立派な料理が出来ることが、また野菜、果物等は皮と實との部分に一番、賞味がありますから、皮のむき、使用し、ジャガイモ等は皮をむき、二割方目方がへります。ゆで、薄皮だけを三分ぐらゐるしか減りません。もし皮をむけば必ずこれを利用して、天日ではして用ひるやうにしました。かうしてなるべく安く栄養のあるものを買ふやうにすれば、平均一人當り五錢から七錢ぐらゐの節約が出来ますので、毎日當番を定め、節約した金を集めて組長さんの所へもつて行きます。組長さんの所では五分まで郵便局に預入して行くことになつてをります。一日分ずつと一ヶ月五個から八個ぐらゐの節約が出来、二月で十五、六個程度になりますので、これを國債購入費のたしとしてをります。少しでも多く買ふやう努めてをります。時には苦しいと思ふこともありますが、國債となり國につくして自分にもどることを思ひ、明るい希望を胸一杯に、切りつめた毎日の生活をおくつてをります。

ます。女で出来るご奉公はこれに越したものはありまん。日本中の主婦が皆この心掛けで下されば、もつと多くの國債、債券も何の苦もなく消化されることと思ひます。

毎月毎月平均十六圓

石川縣金沢市五軒町五丁目 村松又平

私共の町内會は、名古屋市の東部住宅街に接した小賣商人の多い新興的に進まない町で、世帯數七十五、その内、約十二、三ほどは、勤労者や職工、工場等で、實世帯は六十餘であります。貯蓄は國民貯蓄、婦人會貯蓄等はもちろんで、努力に實施してをりますが、このほか毎日掛ける八幡日掛貯蓄金、毎月八日の大詔奉戴日に貯蓄する大東亞建設米英擊滅貯蓄金、高知縣約守貯蓄金と、十二月八日に發會式を舉げる大詔奉戴記念高知縣貯蓄金と、簡易保險貯蓄金の五種類があります。

毎日掛ける八幡日掛貯蓄金は、五年前ははじめ、最初は一日十三圓七十錢づつで、加入者五十人でした。が、だん／＼増加し、昨年は六十四人で一日六十一圓七十錢、一年二万二千餘圓となり、今年も七万三千餘圓となつてをります。米英擊滅大東亞建設貯蓄金は、大東亞戦争開始と同時に發會式を舉げ、毎月八日に貯蓄しますが、これは一口掛金八錢で、預入口數が自由です。から、大變人氣を呼び、第一回十

六年十二月は預入口數六万餘口、四千八百餘圓もあり、以來、毎月七千口、八千口と預入れてをります。高度節約幸貯蓄金は各家庭に大きなたい竹筒一本と、五十錢預入の主婦名義の貯蓄預入通帳を、町内から一冊づつ、全家庭に贈り、そして家庭で一生懸命節約した金をこの竹筒に入れて、毎月一日に集めて貯蓄する申合せをしたところ、最初の月は二百九十圓、加入者六十五人でしたが、それが三百五十圓となり、四百三十圓となり、十月は五百四十餘圓となりました。この幸貯蓄金を開始してから、婦人の協力で全町が非常に節約することになりました。簡易保險貯蓄金は全町一人も洩れなく本年五月加入して、毎月二十五日に集めてをります。大詔奉戴記念高知縣貯蓄金は十二月八日に發會式を舉行しますが、いま豫約でも二万円を突破してをりますから、十二月中には、これまた三万圓位は貯蓄できると信じます。かやうに小さな町内會が、今では一ヶ月一世帯六十餘圓の驚くやうな貯蓄をしてご奉公し、先般も大藏大臣から表彰されました。

大人と子供の貯蓄合戦

石川縣金沢市五軒町五丁目 小林周治郎

私の隣組では子供會の中合せにより、お小遣の中から毎日一錢づつ積立て、をります。加入者は國民學校入學中の兒童です。

私は子供のことで、楽しみの中にも思はず知らず積立てるやうにと、集金のカードを渡して一日一錢持つて来ると、その日の欄へ私の印を捺してやります。カードは下げるやうに出来てをり、家中の見易い場所に下げておきます。子供は私の印の重なるにつけ、また空欄が一つづつ減つて行くのを見て楽しみ、その日の貯蓄を待つやうになつてきました。誰いふともなしにこの空欄を、敵米英の飛行機、軍艦と思ひ、毎日の一錢の爆弾でこの空欄を撃滅して行かうといふことになり、『米英擊滅貯蓄』と名付けました。最近では、お母さん達が學校に上らぬ子供や、また結婚中の母から生れる赤ちゃんのために参加したいと申込みがあり、米英擊滅の勇士が増加しつつあります。集金の方法は六年生以上の生徒が二名づつ、交番で集金し、私宅へカードと金を持参し、捺印の上、再び子供へ返します。

この子供の貯蓄に動かされたお母さん達も、子供に負けないうやうにと、十二月八日の大東亞戦争一周年を記念して、次ぎのやうな申合せをいたしました。臺所の節約を圖つて毎日五錢づつ積立てることです。いよ／＼十二月八日より大人と子供の貯蓄合戦が開かれる譯です。大人の集金も子供貯蓄と一緒に子供が集めることになり、そのお禮と貯蓄向上の意味をもつて、毎月八日、各家庭の廢品回收代を子供貯蓄に振り當てます。



軍國の母の敢然一日入營

—東京—

皇軍の崇高な精神と激しい練武の生活に感服して、軍國の母としての心構へをいよ／＼ふまへおこせませうと、大日本婦人會東京市各區支部員八百名は、二月一日早朝、東部第六部隊の營門をくぐり、一日入營の力強い姿を示しました。

この日九時、永澤東部第六部隊長の訓示を受けて、女中隊に配属された婦人部隊は、まづ營庭で兵器の説明を聴き、高射砲の射撃を見学、ついで掃蕩砲を自ら投げて戰場気分になりましたが、お昼には食事配給も自分の手で兵食を攝つてのち、銃剣術や射撃を練習、午後三時、除隊気分まで味はつて去賢した一日の訓練を終りました。

なほ、當日は東部第七部隊へも八百名の婦人部隊が入營、豊島近衛師團長の奮闘をうけました。ついで三日には、東部第八部隊でも同様に一日入營が行はれ、戦ふ國の母たちの戦ふ意氣を昂げました。



内務班に入り教官から懇切な訓示を聞く(右の上)

織手に木銃を握つて天晴れた武者振りです

心を引緊めて米英撃滅の狙ひを銃にこめる

妻たちよりお上手だワと兵隊さんのミシンを見学

細心の注意を配つて三角巾の使ひ方も習得する

お腹を空かして味はふ兵食の美味しいこと



見よ！この敗戦の姿を

米英俘虜群を
生産擴充に
東京



親切な診察をうけてゐる病兵



何ぞ思ふか、重傷者には餘念もない
南方各戦線でわが軍門に降つた
莫大な數に上る米英の俘虜は、そ
の後、皇軍の道義に基づく公明正
大な取扱をうけて内地、朝鮮、
臺灣はじめ各地の俘虜收容所に
收容され、また戦ふ日本の生産擴
充に一段買つて各種の勞役に就い
てゐる

南方の諸民族ばかりではなく、
わが國內でも、無自覺な米英崇拜
が長い間、根強く發つてゐた。そ
れがどうだつたらう。大東亞戦争
が勃發するや皇軍將兵は、戦前
あれほど強大を誇つた米英軍を、
緒戦において殆んど鎗袖一觸し
てしまつた。そして、感銘深い數
數の戦果のうち、最も手酷しい教
訓は、内地に送られてきたこれら
俘虜の姿ではなからうか

本誌第二百四十三號所載『二人
の米兵』の中にも、軍人としての
矜持や祖國愛を全く忘れ果て、
一瞬一秒の生命に執着してゐる
米兵の醜い姿が、餘りなく描かれ
てゐる。また彼らが所持してゐる軍
隊手帳には、俘虜になつた時の心得
がこまかくと記されてゐるとい
れる。祖國の運命を賭した、戦争
といふ最も嚴肅な現實を甘受で
きない彼等が、どうして平時に優
秀であり得るだらうか。世界は、
彼等の表面的な物質文明の華やかさ
に眩惑されて、かういふ分り切つ
た事實を見逃してゐた。彼らの物
の見方や、考へ方が世界を支配し
てゐる限り、世界の不幸や、汚辱
が拭ひ去れないことは、いふまでも
ない。大東亞戦争も一面、彼らの



居室で、新聞や雑誌を讀み耽つてゐるアメリカ士官たち



物質的な、利己的な物の見方、考
へ方との戦ひである。われわれの
心の中に、いはゆる米英思想の一
片でも残つてゐるうちは、戦ひに
勝つたといふことはできない
日本人の考へ方では、到底表現
の方法が見つかからないこれら俘虜
の姿を前にして、われわれは、三
省も、四省もしなければならぬ
ところであらう

東京港で一生命荷役に従事



★ ★

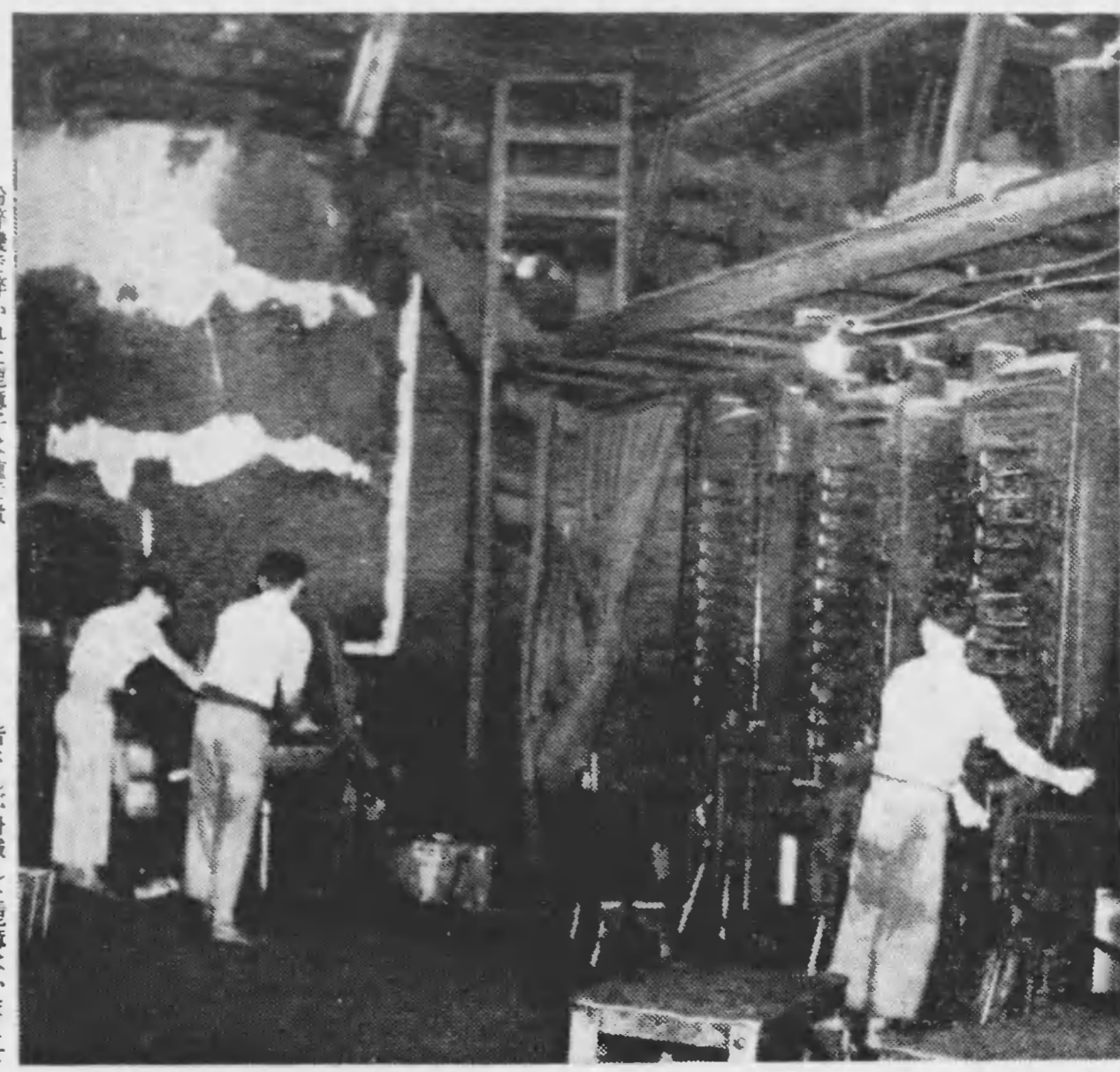
皆ががんばる はたし納献



二本と各... 遠麻子は立派に實を結び、各家庭から全部納められた。東年播く優良な種子はいたしけるのだから...



東部集荷工場の倉庫は送られた遠麻子の袋で埋まった



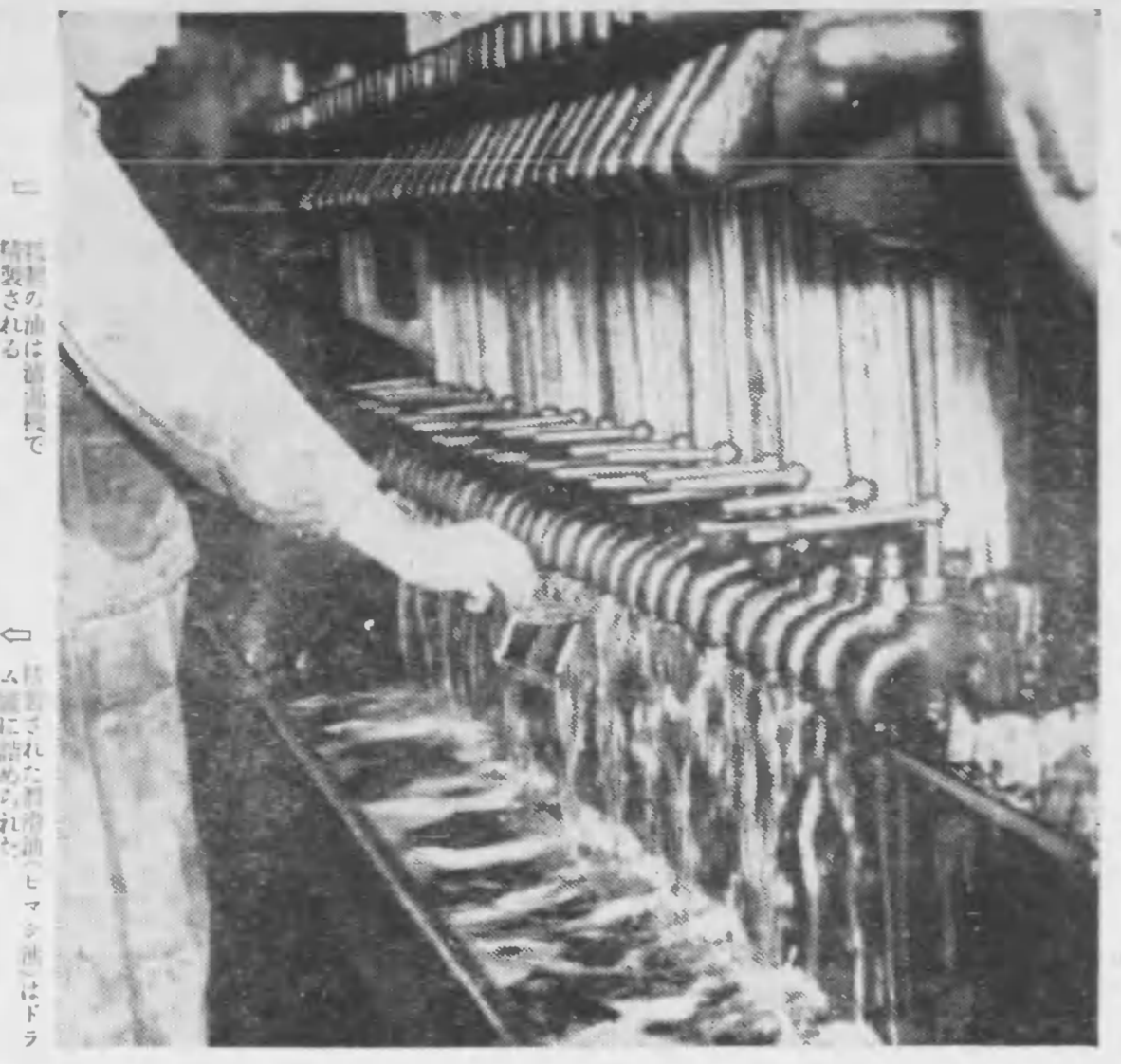
粉砕機で砕かれた遠麻子は濾して煮られ、搾油機で搾られる

昔さんが丹誠した遠麻はいまこそ潤滑油となつて勇躍出征する

全国の皆様から献納していただいた遠麻子は、ごらんのやうに東部、中部、西部の三集荷工場にどん／＼到着してあります。皇軍の活躍のために遠麻を作つて献納しようとする皆様がこの運動に参加されて、この春から空地や荒地を利用して、丹念に作られた遠麻子の集果は、一百万斤をはるかに超えようとしてあります。

一粒の遠麻子、一滴の潤滑油が最も必要なとき、百万斤といふ皆様の汗の結晶は、強力な武器としていまこそ立派なお役に立ちます。東部の集荷工場に集つた遠麻子は、次ぎから次ぎへと製油機に投げ込まれ、高級な潤滑油として搾油されてあります。

やがてこの潤滑油は戦線に送られ、飛行機や戦車を動かす、皆様の愛國の至情に應へて特々の戦果を齎すこととせよ。



精製された油は濾過機で精製される
← 精製された潤滑油(ヒマシ油)はドラムに詰められた





農村と都會を結ぶ戦友愛

箱を踏んで新鮮な牛乳が舞へはこばれる

撮影 橋 忠次



臺灣の

ヒマシ献納運動

范麻は長く育つ
ばかりではなく、臺灣においても熱心に行はれ、大きな収穫をあげました

この運動は住民の各層に亘つたが、ここ花蓮港市の第五區婦人會は、本區に程近い川べりにある空地を無償で借り受け、范麻の栽培に當りました。一週間に一回は必ず出て、會員が丹精した甲斐もつて、収穫は想像外の好成績で一月採ればそれだけの効果は必ずあるといふ實例がととに黄麻子献納のご奉公を果しました

↑ 范麻の具を前にす水灌漑も防空訓練式で、虫取りを手入れすべてアキバキと

↓ 収穫した、想像外の豊かさを前に、會員たちは一年の勞苦を忘れ、これに先づお國のたすきを思ふ



一本の煙草も二人で分け合ふ心。この前線の戦友愛こそ戦友日本のも固く團結した國民の生活物資に對する心構へでなければならぬ

消費地と生産地。都會と農村の間に交流する温い心やり、その上に立つて淡みなく流通する生活物資、そこに必勝生活の一つの鍵があるのだ

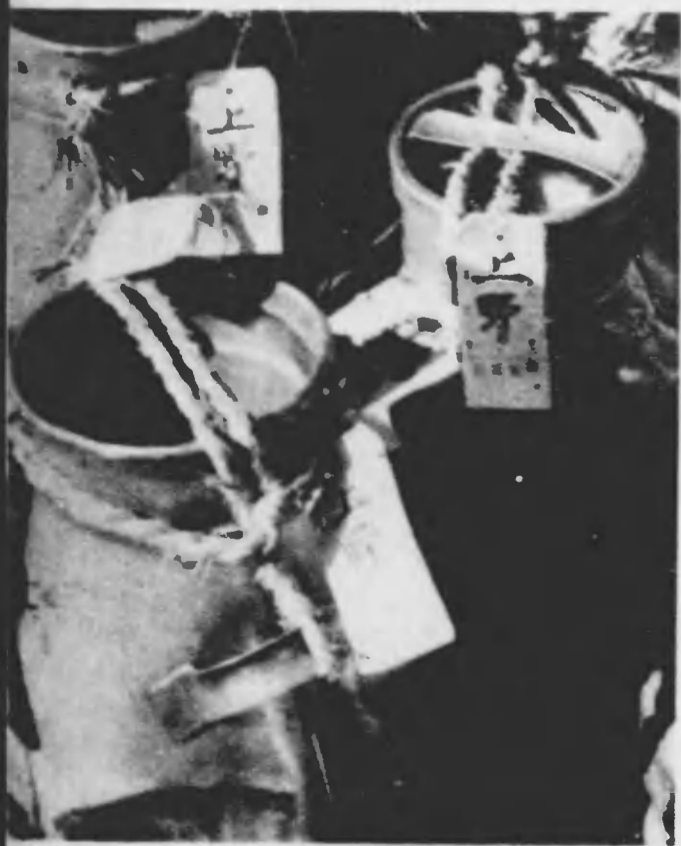
米も野菜も、薪も炭も、作る人達、供出する人々の辛苦と温い心やりを、使ふ人達が感謝の心でかつきりと受け止めるのだ。そこにはブロック制の垣もなく、足しきは足しまゝにわけ合つて一路必勝街道を進む姿があるばかりだ

千葉から、長野から、茨城からと生産地の人達から示された好意とこれに應へる帝都の人々の感謝に示された美しい例を拾つてみよう

新鮮な牛乳が 信州から上野行き列車で

遠く信州のお百姓さんから、毎日飲用牛乳が東京市へ送られてくる。これは長野縣東信地方一千六百戸の農家で最近一、二頭宛の乳牛を飼つて、女や子供の手で立派に育て上げ、一ヶ月四百石からの牛乳を帝都の乳幼児達のために送り出してくれてゐるのだ。この帝都への新しい豊饒地帯こそは、これら美しい農村の人々の心から生れたのだ

アルミの輸送箱が上野ゆきの荷れをつけて





〇 暖々と増産の斧の響が林間にこだまする

〇 村民は總出だ、一家十束づゝの自家薪供出も申合せられた

〇 薪、薪、薪、出荷組合の前には村民の眞心が續々とほこびこまれた



〇 配給所から市民の手に薪はとどいた。やがて農村の人々の心が赤々と燃えるのだ。そして市民の心にもほのくゝと温かさを傳へる



〇 東京燃料商組合倉庫から配給所へ



〇 これは皆な農村の人々の眞心のこもつた薪だぞ、帝都についた薪列車からどん／＼と下ろされた

茨城の山か帝都の冬へ 薪の贈物

農村と都會を結ぶ薪の道

冬を迎へていよいよ切實な帝都の燃料の一助にもと農林省、東京府、市の呼びかけに應じた茨城、群馬、山梨、千葉、栃木各県の山林に、各地の人々は懸命の鉈を振ひ、鋸を挽いてゐる。そして日夜この薪の山は帝都の驛々に賑々と送り出されてゐる。やがてこの薪は市民の竈に赤々と燃え、農山村の人々の心に温かくあたためられるであらう。茨城、牛久村、草崎村、こゝでは二十一名の出荷組合員によつて、六十万束の出荷が確實に行はれようとしてゐる

撮影 飛田昌哉

十葉のお百姓さんをお芋あいがうた



先生の手から子供のお手へ、小春の陽ざしにぬく〜と温まつたお芋が配られる。温いお百姓さんの心も一緒に



農村と都會を結ぶ戦友愛

自分達の食べる分はへらしても、野菜不足の帝都の人々によるこんでもらほうと、千葉県海上郡の農家の人達が自家食用の「おさつ」から三戸に一俵づつを供出して集めた一万四千貫が帝都へ贈りとどけられました。帝都では早速市内の國民學校一、二年生三十方と託児所の幼児三千六百人の子供達に配つてこの美しい心を味はせることになりましたが東京市ではこの農村の美しい企てを市政史に記録して永く語り傳へることになりました。このわけ合ふ心こそ、勝ち抜く日本の固い團結の姿ではありませんか

千葉縣のお百姓さん、有難う。京橋 さまけふの報方の題は「オイモア 阿利ガタウ」わかりましたか、澤山とお礼を書きませう



チバケンノオヒヤクシヤウサン、オイシサウナオイモア... お百姓のおちさん見てちやうだい。小さなお手々に振られてお芋も皆な嬉しうです。弟達も大喜びです。大変おいしいおさつでした



オイモ
アリガタウ

寫眞週報 昭和十七年十二月十七日 郵政省郵政局長官 昭和十七年十二月十七日發行（毎週）同本局發行 巻一百五十四

大東亞戦争國債

郵便局賣出

十二月七日⇨十八日

大東亞戦争第一周年記念

あの感激を
國債へ債券へ

大蔵省

第六回 戦時

貯蓄債券

賣出 十二月七日⇨一月七日

内閣印刷局印刷發行

<p>本誌を戦地にお送りになる場合には送料は内地と同様で封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一袋です。</p>	<p>所 達 申</p> <p>全國各地官報 販 賣 所 書店・轉賣店 新聞販賣店 寫眞材料店</p>	<p>價 定</p> <p>▲特天賦の場合は其の都度御申込金より差額を申受けます</p> <p>▲郵政貯蓄債券の方は一部十銭（送料一銭）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい</p> <p>▲外埠郵送に依る場合は送料共一部十九銭（送料一銭）</p> <p>一部十銭 （送料一銭）</p>	<p>昭和十七年十二月十六日印刷發行</p> <p>情報局 東京市豊島区 永田町一丁目 内閣印刷局 東京市豊島区永田町</p>	<p>寫眞週報 （兼賣部）</p>
	<p>〔列強報連〕A4種規定用紙より大の書本</p>			